

## 運転士を対象とした危険感受性向上訓練課題の開発

増田貴之 佐藤文紀 北村康宏

危険感受性は、危険源を速く正確に発見するスキルのことです。危険感受性の高い運転士の育成は、鉄道事業者が運転士による事故を防ぐ上で重要です。本研究では、危険感受性を向上させるための2つの課題、シナリオ描画課題と見逃し体験課題を開発しました。シナリオ描画課題は、作業場面の絵を描きながらヒューマンファクタの着眼点（観点）から危険源について考えることで、危険源に関する知識を獲得するものです（**図上段**）。見逃し体験課題は、見逃しを体験することで、危険源を探そうとする態度を向上させるものです（**図下段**）。運転士を対象に両課題の効果を実験で検証した結果、絵を描かない危険予知課題より

もシナリオ描画課題で、より多く、より様々な観点から危険源を見出せることを確認しました。また、見逃し体験課題を体験することで危険源を探そうとする態度が高まることを確認しました。

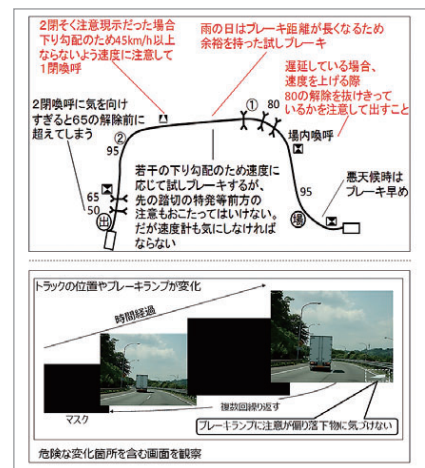


図 危険感受性訓練課題  
（上段：シナリオ描画課題例，下段：見逃し体験課題例）